

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月23日(金)

事務事業		組織編制事務		担当課	企画課	担当係	行革推進係	管理番号	3221
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり	根拠法令 個別計画等	地方自治法				
	小項目	4	行財政運営の推進						
	主要プロジェクト								
事業概要		社会情勢や市民ニーズに見合った行政サービスを、適正かつ効率・効果的に提供するために、市役所組織の再編を行う。また、各部・各課が実施する行政サービスに必要な職員定数を定めるものである。							
目的 ※何のために		社会情勢・市民ニーズにあった適正かつ効率・効果的な組織の編制							
対象 ※誰・何を対象に		行政組織（部、課、係等）							
手段 ※どのように		組織上の課題等を各課個別ヒアリングにより情報収集し、組織改正を行う。また行政評価等の情報をもとに、各組織に適正な人数を配置する。							
成果 ※何を求めるか		社会情勢、市民ニーズにあった適正かつ効率的な組織体制の構築							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額（円）	
本事業の 主な業務		・ 組織ヒアリングの実施				・ 事務分掌事項の規則改正			
		・ 各部各課配置人数の決定				・ 各課実施事務事業の括りの調整			
		・ 業務量の分析・把握				・ 職務権限規程の改正			
		・ 事務引き継ぎ書の作成依頼				・			
		・ 事務室配置				・			
		・ 事務分掌事項の調整				・			

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	0	0	0	0		
	決算額	0	0	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	0	0	0		
人件費	従事職員数（人）	0.96	1.02	0.78	0.78		
	人件費相当試算※	7,451,438	8,026,948	6,393,182	6,393,182		
総事業費試算		7,451,438	8,026,948	6,393,182	6,393,182		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	組織ヒアリングの実施率		目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績値		100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			全ての課を対象に実施することを目標とし100%とする。 / 実施教室数/実施対象課室数						
	実績値の算出式				55/55					
成果指標 1	抽出課題数		目標値	件						
			実績値		5.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			行政課題やヒアリング等で把握する課題であるため、目標値は設定しない。／組織改正数（編制数）						
	実績値の算出式				産業拠点整備室ほか					
成果指標 2	課題に対する対応率		目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績値		100.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			組織改正により対応する課題については、全て対応することを目標とし100%とする。 / 組織改正数/抽出課題数						
	実績値の算出式				産業拠点整備室ほか					
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	組織ヒアリングを目標通り実施することができ、組織編制に向けて、各組織の課題等を把握することができたため、A評価とする。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	令和5年度の組織編制として、産業拠点整備室を廃止し、産業ブランド推進室及び区画整理課に再編することで、事業進捗に伴う組織再編、重点施策の推進及び効率的・効果的な業務運営に向けた組織編制を行った。施策の推進に向けた組織体制を整えることができたことから、A評価とする。
			評価者 行革推進係長 清水 孝恵

(2) 事業効率性評価

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	組織ヒアリングの会議録作成について、音声テキスト化システムを使用した。音声テキスト化システムだけでは精度の高い会議録を作成することができないため、職員が記録したものとハイブリットの活用を行った。
			評価者 行革推進係長 清水 孝恵

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	事業の進捗や後期基本計画を効率的に推進するための組織編制の実現に向けて、組織編制に係る考え方を基本方針として整理する必要がある。
達成状況及び その効果	令和5年度を始期とする第2次深谷市総合計画後期基本計画を推進するにあたり、重点施策の推進及び効率的・効果的な業務運営に向けた体制整備について考え方を整理した上で組織編制を行った。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	組織編制事務	担当課	企画課	担当係	行革推進係	管理番号	3221
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		今後も、中長期的な視点を踏まえ、効率的・効果的な組織編制を継続的に 行っていく必要がある。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者 企画課長 福島 正孝					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	組織ヒアリングに係る事務の効率化に向けて、配布資料のペーパーレス化を図る。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	各組織に適正な職員数を配置する際、定年延長、公民館の指定管理者制度導入を考慮した、効率的・効果的な業務運営に向けた体制整備を検討する必要がある。

8. 評価指標グラフ

